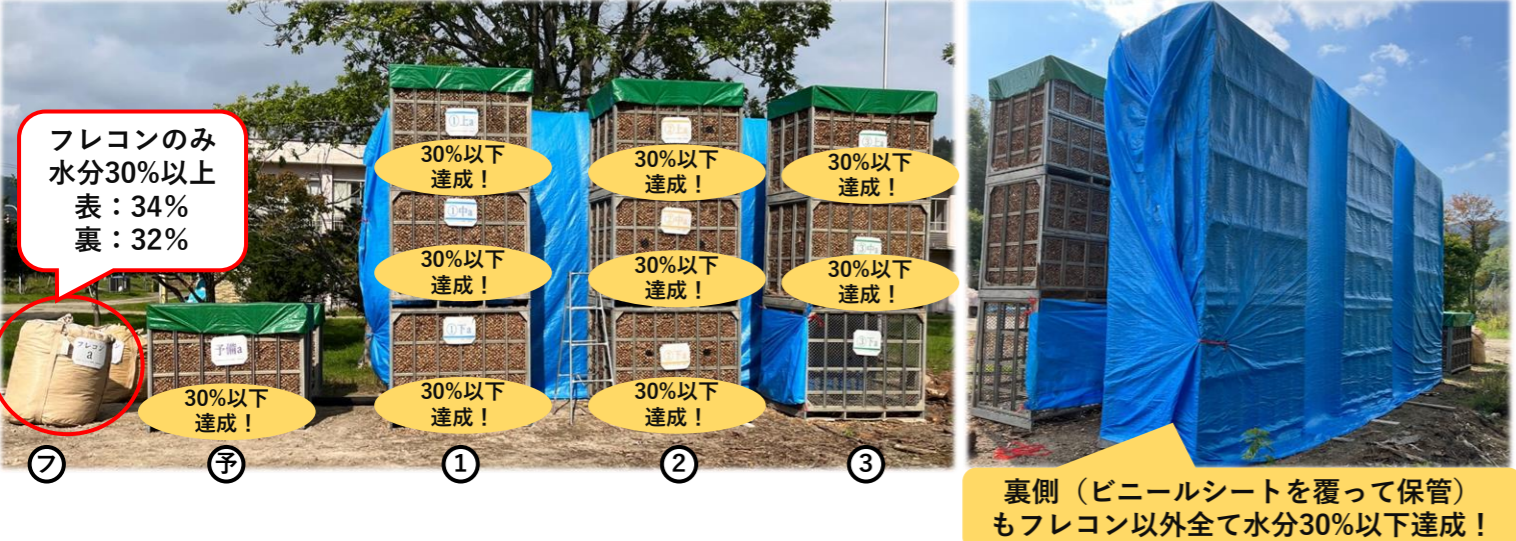


2) 乾燥試験 (令和4 (2022) 年9月26・27日から12月7日まで)

結果 当初は水分30%以上ありましたが、約2ヶ月間の乾燥で約9割のチップが最終的に水分30%以下となる結果でした。また、乾燥がしやすい条件は「③下段空箱/2段積み」という結果となり、乾燥期間がある材であれば、チップ化後にすぐに燃料用として利用できることが分かりました。



3) 利用方法試験 (令和5 (2023) 年2月10日に実施)

調査内容 燃料用として活用が可能となったチップが、実際に木質バイオマスボイラーにおいて利用できるのか否かを試験しました。

結果 規格A (カラマツ) チップ、規格A・B (混合) チップともに、問題なく燃焼しました。



とりまとめ・総括

本事業で各種実証試験等を実施した結果、**つべつウッドロスマルシェ模擬開催に持ち込まれた材は、燃料用チップとして利用が可能**であることが分かりました。
つべつウッドロスマルシェは、令和5年度より本格運用をしていきます。今後も情報発信を続け、町民等と意見交換を行いながら精度向上に努めていきます。



【発行・お問い合わせ先】北海道津別町 産業振興課 再エネ推進係
〒092-0292 北海道網走郡津別町字幸町41番地 TEL(係直通): 0152-77-8387 FAX: 0152-76-1217

【協力】一般社団法人 日本森林技術協会 Japan Forest Technology Association

この事業は、公益財団法人北海道市町村振興協会(サマージャンボ宝くじの収益金)の助成を受けて実施しています。



写真は、つべつウッドロスマルシェ模擬開催の実施風景です！今回は中間土場(原木等の保管場所)で実施しました。令和5年度以降は、つべつ木質バイオマスセンターで実施していきます！

今年度の取組とつべつウッドロスマルシェ

津別町では、地域資源である木質バイオマスを活用し、**資源・エネルギー・経済の持続的な地域内循環の仕組みづくり「地域内エコシステム」**の構築を目指しています。
過年度(令和元(2019)～令和3(2021)年度)においては、地域内エコシステムの構築に向けて、原料供給(川上)、燃料製造(川中)、エネルギー利用(川下)の持続可能な実施体制の構築を検討・協議を行い、その結果として、原料供給(川上)側から原料を持続的かつ安定的に確保する事業である「つべつウッドロスマルシェ」を計画し、**令和5(2023)年度から本格運用を予定**しています。
令和4(2022)年度では、つべつウッドロスマルシェの円滑な運用を目指し、計画を確立していくために「**つべつウッドロスマルシェ実証事業**」に取り組みました。



つべつウッドロスマルシェ実証事業について

令和4（2022）年度は、つべつウッドロスマルシェの確立を目指して、「つべつウッドロスマルシェ実証事業」に取り組みました。本事業は、3つの項目に分けて実施しました。

① ウッドロスマルシェの模擬開催

ウッドロスマルシェを実際に開催（模擬）し、町民等の参加者から取り組みに関わる意向を聞き取りました。また、意向結果からウッドロスマルシェの効率的な実施に向けた整理（マニュアル案作成等）を行いました。

② 収集した原料の活用調査【 1）チップ化、2）乾燥試験、3）利用方法試験 】

①で収集した材を活用し、実際にチップ製造（チップ化）を行い、併せて、燃料用（エネルギー用）に適した品質とするためにチップを乾燥させました（乾燥試験）。また、乾燥させたチップが実際に燃料用として利用できるか否かを試験して確かめました（利用方法試験）。

③ 分析・検討・提言等

①および②を実施するにあたり、方法の検討や結果の協議等を行うための協議会（調査研究会）を計4回開催しました。また、町民等に向けた取り組みの普及周知として再エネ勉強会や成果報告会を実施しました。

① ウッドロスマルシェの模擬開催

町民等を対象に模擬開催



② 収集した原料の活用調査

1) チップ化 2) 乾燥試験 3) 利用方法試験



③ 分析・検討・提言等

1) 協議会（調査研究会）

2) 再エネ勉強会

3) 成果報告会



講師：山形定氏
（北海道大学）

ウッドロスマルシェ模擬開催の結果

町民等を対象に模擬開催（令和4（2022）年8月28日に実施）

結果

当日の参加者は、3名（町内2名、町外1名）で、持ち込まれた材の総重量は計1,550kgでした。

tあたり参考買取価格
（規格A～Bを抜粋）

規格A（カラマツ） 7,400円/ t
規格A（混合） 5,900円/ t
規格B（カラマツ） 3,700円/ t
規格B（混合） 3,000円/ t

運営No1：企業（一般廃棄物収集業者）



- ◆ 私有林（自己）
- ◆ 約1ヶ月前に搬出
- ◆ 規格B（混合）：正味500kg
- ◆ 買取価格（換算）：1,550円

運営No2：企業（町外・農業）



- ◆ 私有林（自己）
- ◆ 約2年2ヶ月前に搬出
- ◆ 規格A（混合）：正味810kg
- ◆ 買取価格（換算）：4,779円

運営No3：個人



- ◆ 私有林（自己）
- ◆ 約1年3ヶ月前に搬出
- ◆ 規格A（カラマツ）：正味240kg
- ◆ 参考買取価格：1,776円

収集した原料の活用調査の結果

1) チップ化（令和4（2022）年9月26・27・28日に実施）

調査内容

模擬開催で持ち込まれた材を活用し、どのようなチップが製造できるのかを試験しました。

結果

燃料用チップとして活用が可能なものが製造されました（チップサイズ約1cm弱～3cm弱）。



規格A・B（混合）：チップ

規格A（カラマツ）：チップ

2) 乾燥試験（令和4（2022）年9月26・27日から12月7日まで）

調査内容

燃料用（エネルギー用）に適した品質とするためにチップを乾燥させ、どの方法（下記5条件）がチップを乾燥させるのに適しているのかを整理しました。

乾燥方法 （5条件）

- ① 加工なし・・・6基
 - ② 暗渠排水管用入りコンテナ・・・6基
（主風方向に対して平行）
 - ③ 下段空箱/2段積み・・・4基
 - ④ 予備コンテナ・・・2基
（暗渠排水管を主風方向と交差）
 - ⑤ フレコンバック・・・2袋
- 計20検体



重量計測

水分計測